

# 第1回 北九州市自転車活用推進計画検討会 議事要旨

日時 : 令和8年3月26日(木) 14:00~16:00  
場所 : 北九州市役所 12階 121会議室

出席者 :

**【構成員】** (五十音順、敬称略)

	氏名	所属
1	内田 晃	北九州市立大学 教授
2	河邊 政恵	株式会社リバー不動産 代表取締役社長
3	寺町 賢一	九州工業大学大学院 教授
4	濱田 千夏	NPO 法人 I-D0 理事
5	藤重 めぐ美	北九州市 PTA 協議会 理事
6	藤本 幸彦	サイクリングチーム Blue Grass

**【オブザーバー】** (五十音順、敬称略)

	氏名	所属
7	川元 真介	福岡県警察本部交通企画課 課長補佐
8	友成 啓太	福岡県警察本部交通規制課 課長補佐

欠席者 :

**【構成員】** (敬称略)

	氏名	所属
9	山野内 聡香	北九州市立大学 学生 (公募構成員)

- 議事 : 1. 開会  
2. 構成員紹介  
3. 北九州市自転車活用推進計画検討会について  
4. 北九州市自転車活用推進計画 (中間見直し) について  
5. 閉会

- 議事内容：◎北九州市自転車活用推進計画検討会の開催目的について事務局より説明。
- ◎座長決定。(内田構成員)
- ◎本日の検討会の内容について事務局より説明。
- ・当初計画策定の目的と背景
  - ・国・県・市の自転車活用推進計画
  - ・これまでの取組みと目標の達成状況
  - ・市民アンケート調査実施結果
  - ・今後の進め方
  - ・意見交換
    - ⇒「生活する中で感じる自転車環境」、「各施策のこれまでの取組み状況に対する意見」、「今後の取組みに対する意見」の3項目についての意見交換。
- ◎検討会のスケジュールについて事務局より説明。

## 検討会の主な意見

### **[自転車通行空間について]**

#### 構成員

- ・ 学生さんのお話で、自宅から大学まで自転車で通学しており、車道沿いに雑草がのびていて走行の妨げになっている。帰りが遅くなった場合、道路周辺が暗いため雑草が目につきにくく、その上を走行した際に滑ることがあり危険を感じているとのこと。

#### 構成員

- ・ 小倉駅の高架下の駐車場からセントシティの方につながっている東側公共連絡通路は幅が狭く、歩行者と自転車が混在している。
- ・ 連絡通路の入口と出口に押し歩きする様、路面シールが貼ってあるが、高架の中ではシールが消えており、自転車に乗ったままスピードを出して走行する方がいるため、怖い思いをする方がいるとのこと。

#### 構成員

- ・ 計画を立てて数値目標を設定しているのは、PDCA を行うため。数値目標を達成できなかったのであれば、それに対してどうリアクションを起こせるかシビアに見たほうがいいのではないかと思う。

### **[サイクルツーリズムについて]**

#### 構成員

- ・ 北九州市で過去に開催された自転車イベントで、2023年にメディアドームから大牟田市まで走るステージレースである「ツール・ド・九州」や、2023年と2024年に小倉城周りの道路を走る「小倉城クリテリウム」というロードレースが開催され非常に盛り上がった。
- ・ 最近では他のイベントも含め他都市で開催されることとなり、北九州市から離れていつている。サイクリング愛好者として寂しい思いをしている。
- ・ 過去に「サイクルツアー北九州」というイベントが2008年に北九州市で開催され、5年ほど続いたが、それ以降は開催されていない。

#### →構成員

「ツール・ド・九州」は過去1回も走っていない県などで開催されている。福岡県はもちろん、九州全体の振興としてサイクルツーリズムの機運が高まっていくことは良いことだと思う。しかし、先ほど言われたように北九州市での自転車イベントが寂しくなっているとは感じている。

## **【ヘルメットの着用について】**

### 構成員

- ・街中でヘルメットを着用されている方が増え、特にご高齢者の方も多く良いことだと思う。しかし、シェアサイクルやミクチャリを利用する際、ヘルメットの着用はどうお考えか。

### →事務局

シェアサイクルについては、サイズが合わないことや、衛生面の問題もあり事業者としてヘルメットをセットで置くことは考えていない。今のところご自身でご用意していただくこととなる。

### 構成員

- ・ヘルメットを持たれている方が少ないと思われ、ヘルメット着用の義務付けが利用の減少につながるのでは。

### 構成員

- ・子供が自転車を頻繁に利用している。小学生の子はヘルメットを被るが、中学生の子は被っていない。義務にはならないのか。

### →オブザーバー

ヘルメット着用は努力義務であり、青切符の対象ではない。切符を切られるということではなく、安全のためにということ。大きな事故の半数ぐらいが頭を打っており、特に高齢者は手で庇う動作が遅いため、頭を打つ確率が高い傾向にある。ルールというよりは命を守るためにということをお願いしている。

## **【シェアサイクル事業について】**

### 構成員

- ・数値目標を提示しているが、LUUP だとかシェアリングエコノミーでいろんなものが導入されているわけだから、自動車の過度な依存は低減に向かっていると思う。

### →構成員

台数的にミクチャリは増えてないが、ステーションの数は倍近くに増えている。そういう意味で利便性は高くなったと言える。

## **【自転車貸出し施設について】**

### 構成員

- ・河内サイクリングセンター・響灘サイクリングターミナルに関し、令和7年度は増加傾向にあるとのことだが、これまで年々数字が落ちてきているため、数値目標を達成するような何かアクションを検討しなければいけない。

- ・河内サイクリングセンターのみではなく、例えばレジャーの多様化だとか、だんだん脱コロナみたいになってきて、レジャーが市外の方までとか、いろんなところに行き始めたから、相対的に減っているとかを分析し評価しないと PDCA にならない。もう少し詳細な分析が必要である。

#### →構成員

コロナの時期であったため、密を回避できるところに人気があった。コロナが落ち着き、だんだん減ってきていると考えられる。

#### 構成員

- ・河内サイクリングセンターは標高 200 メートルぐらいあるので、夏でも涼しい。特に午前中は、道原とか、ます湊ダムとかも涼しい。「避暑に行きませんか」とのうたい文句で呼び込むのもありだと思う。
- ・ここら辺は桜の名所だと思われるので、それで呼び込むのもありかと思う。そこらへんを絡めて、小倉北区のこの辺（北九州市役所 本庁舎）からサイクリングロード、矢羽根をひいていただくと嬉しい。

#### →構成員

響灘サイクリングターミナル・河内サイクリングセンターは、結構健闘している方だと思う。響灘だけでこんなに利用者が来ているのかと感じた。

### **【市民の交通安全意識向上について】**

#### 構成員

- ・昨年、北九州市の都市交通政策課から公共交通利用促進のためのパンフを大学生にも配布できないかとの打診があり、公共交通マップを新入生向けに配布を行った。
- ・マイカー通学を原則禁止しており、自転車や公共交通機関で通学する率が他に比べると高いと思われる。
- ・資料の「具体的な取組み」で、小学校全学年と高校新1年生に自転車安全利用のリーフレット配布となっているが、当大学でも担当事務に話を通せば許可がもらえると思う。向上改善につながると思われる。

#### 構成員

- ・小中学生は、紙でもらうより実践で体感しないと、どこが危険なのかわからない。学校で授業してもらえる方がありがたい。

## 【自転車盗難の防止について】

### 構成員

- ・盗難を受けやすい自転車の特徴があるのか。例えば、鍵が1つだけしかないとか。

### →オブザーバー

二重ロックと言って別にワイヤー錠とかでも施錠する。要は手間暇かけて時間がかかれば取っていく人も盗みにくくなる。自転車については、人目につく場所に停めたり、鍵を開けるまで時間がかかるようにする工夫をすれば、盗られるリスクは減っていく。

### →構成員

オープンデータで自転車が、今どこで盗まれたのかを見ることができ、商業施設が圧倒的に多いのがわかる。小倉駅前も人が集まる場所なので盗まれやすいと思う。

### →構成員

コロナの後にだいぶイベントを仕掛けたり、街中に集客をするようなことを色々やっているのでも、街中の活性化っていう意味ではいいことをしている。結果的には人がコロナ前より多く集まってきているから盗難も増えているって話になっている。集客に対する件数を相対的に見たら、実は意外と変わってなくて、単に集まってきている人が増えてるから件数も増えているだけなのかと思った。

— 以上 —